

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F121310106034	設置等組織名	「建築デザイン創造学科」と「食農デザイン学科」からなる「グリーンライフ創造学部」を新設 文化創造学部に「デジタルフロンティア学科」を設置
大学名	岐阜女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	岐阜	事業計画名	岐阜女子大学地域連携人材強化推進事業

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	【共通事項】 共1-①令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。（設置、継続協議） 共1-②令和6年12月 新設学科構想ごとに（仮）設立協議会を設置する。（設置、継続協議） 共1-③令和6年9月 新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する。（配置、検討） 具体的には 1-① ・令和6年12月 （仮）設立協議会への協力依頼企業の選出および協議会を設置。 ・令和6年9月～令和 8 年3月 ニーズに関わる事項（ニーズ調査、視察含む）（継続） ・令和6年7月～令和 8 年10月 3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項（継続） ・令和6年7月～令和 8 年10月 カリキュラム、付随する取得できる資格（ドローン資格など）、招聘教員（30%増）および教員組織等人事に関わる事項（継続） ・令和6年7月～令和 8 年10月 地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項（継続） ・令和6年7月～令和 8 年10月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項（継続） ・令和6年7月～令和 9 年3月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項（継続） ・令和6年7月～令和 9 年3月 外部資金獲得に関する事項（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せを目標）（継続） ・令和7年 2 月～毎年 事業評価に関わる事項（外部評価委員会） ・令和6年度～令和 7 年度 広報の実施（アンケート等）（継続） ・令和6年度中 その他運営、設置に関わる事項（収容定員関係学則変更の届出） 1-② ・令和6年9月～令和 8 年3月 設置目的と社会ニーズの整合性および育成する人材に関わる事項（ニーズ調査、視察含む） ・令和6年7月～令和 8 年10月 社会ニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム構成と教員資質および教員組織に関する事項 ・令和6年7月～令和 8 年10月 地域連携、高大連携に関する事項の検討 ・令和6年7月～令和 8 年3月 実習フィールド（耕作放棄地の借用含む）や工場確保に関する事項（協力できる範囲含む） ・令和7年4月～令和8年3月 必要施設設備の整備計画に関する事項（計画指導・助言） ・令和6年7月～令和 9 年3月 キャリア支援（就職先分野）に関する事項への助言 1-③ ・令和6年9月～令和9年3月 コーディナーター採用 ・令和6年12月～令和9年3月 新設学科構想ごとに（仮）設立協議会の全体統括 ・令和6年7月～令和9年3月 授業科目と教員資格に関する事項の助言・指導 ・令和6年7月～令和9年3月 3つのポリシー、カリキュラムに関係する計画に係る事項 ・令和6年9月～令和9年3月 設置審に関わる事項の支援	【共通事項】 共1-①令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。（～3月（継続）） 共1-②新設学科構想ごとに（仮）設立協議会を設置する。 ・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催（～3月（継続）） ・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催（～3月（継続）） ・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催（～3月（継続）） 共1-③新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する。・・・それぞれに部会を設置 ・令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱（～3月（継続）） ・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱（～3月（継続）） ・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部 浩氏委嘱（～3月（継続）） 具体的には 1-① ・令和6年12月～令和7年1月 設立協議会への協力依頼企業の選出および協議会を設置する。 ・令和6年9月～令和7年 3 月 ニーズに関わる事項（ニーズ調査、視察含む）・・・学生ニーズを把握するため、岐阜県教育委員会と連携し県下の国公私立の高等学校1・2年生にアンケートを実施（令和7年 2 月） ・令和6年7月～（継続）3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項を新学科設置準備室で検討 ・令和6年 7 月～（継続）カリキュラム、付随する取得できる資格（ドローン資格など）、招聘教員（30%増）および教員組織等人事に関わる事項・・・それぞれに部会で検討 ・令和6年 7 月～（継続）地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項・・・設立協議会委員委嘱と関連し協定内容について継続検討 ・令和7年 2 月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項・・・オープンキャンパスの早期開催、公開講座の多様化、奨学金の見直し、 ・令和6年10月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項 ・令和6年7月 外部資金獲得に関する事項（公募事業への申請） ・令和7年2月 事業評価に関わる事項・・・外部評価委員会実施 ・令和7年2月 広報の実施・・・岐阜県下の高校に設立構想に係るアンケート（広報）を実施 ・令和6年10月 その他運営、設置に関わる事項・・・収容定員関係学則変更届（令和7年4月施行） 学科新設等に関先駆けて、母体の学科等の収容定員の減を届出 ・家政学部生活科学科 200人→160人（40人減） ・家政学部健康栄養学科 480人→320人（160人減） ・文化創造学部文化創造学科 640人→380人（260人減） 1-② ・令和6年11月 設置目的と社会ニーズの整合性および育成する人材に関わる事項（視察） ・令和6年7月～（継続）社会ニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム構成と教員資質および教員組織に関する事項 ・令和6年9月～（継続）地域連携、高大連携に関する事項の検討 ・令和7年2月～（継続）実習フィールドや工場確保に関する検討・依頼 ・令和7年2月～（継続）必要施設設備の整備計画に関する事項（計画指導・助言） ・令和6年10月～（継続）キャリア支援（就職先分野）に関する事項への助言 1-③ ・コーディネーター採用（令和6年度から） ・令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱（～3月（継続）） ・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱（～3月（継続）） ・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部 浩氏委嘱（～3月（継続）） ・新設学科構想ごとに（仮）設立協議会の全体統括（継続） ・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催（～3月（継続）） ・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催（～3月（継続）） ・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催（～3月（継続）） ・令和6年7月～（継続）授業科目と教員資格に関する事項の助言・指導 ・令和6年7月～（継続）3つのポリシー、カリキュラムに関係する計画に係る事項 ・令和6年9月～（継続）設置審に関わる事項の支援	令和6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 【課題と理由】 事業計画に対応する取組状況は、当初から現在第13回の新組織に関する検討会（新学科設置準備委員会）を開催し、それぞれ3つの新組織について多面的に検討している。また、同時に、地域との連携・地域の人材強化を目指しており、長年の課題である若者の他県への流出増を軽減すべく、10月以降県教育委員会と折衝し令和7年2月に県下の国公立の高校及び私立高校の協力を得て高校1年、2年生を対象にインターネットによるアンケート調査を実施し、21,461名（うち、女子10,463名）から回答を得て、方向性について確認し、分析をし、ニーズに対応した新学科のコンセプトの改善に取り組んでいる。 また、その結果として高校生や地域のニーズに合致したカリキュラムを策定し、これを担当する大学設置基準に適合する教員数を早急に確立し、獲得していく必要がある。 しかし、それぞれのディプロマポリシーを実現するためのカリキュラム、それを支える教員の確保が課題となっている。 食農・建築デザイン・情報科学共に、専門的な教員が少ない上、他大学でもこれらの専門の教員を獲得している状況で、設置審並びに課程審の対応する論文を持っている等大学設置基準に適合する教員を獲得することが大きな課題となっている。 特に、農業と家政の複合学問については、ディプロマポリシーとカリキュラムの整合並びに専門教員の確保には苦慮している。 また、本学の新学科の特色化を図ることが重要で、新学科の特色を洗い出し、高校生の獲得できる魅力ある学科のコンセプトを随時ブラシアップしている。 【対応】 早急に企業へのニーズ調査並びにカリキュラムマップの作成など、趣旨とカリキュラムの整合性を図り、先の高校生を対象にしたアンケートをより具体化して再度調査する。 また、オープンキャンパス等による来学者への調査、さらに、業者による広範囲の調査も含めニーズを具体的に分析する。 並行して、企業及び、先行大学等を視察し、ディプロマポリシーの具現策を策定する。

	<p>【共通事項】</p> <p>共1-①令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。（設置、継続協議）</p> <p>共1-②令和6年12月 新設学科構想ごとに（仮）設立協議会を設置する。（設置、継続協議）</p> <p>共1-③令和6年9月 新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する。（配置、検討）</p>	<p>【共通事項】</p> <p>共1-①令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。（～3月（継続））</p> <p>共1-②新設学科構想ごとに（仮）設立協議会を設置する。</p> <p>・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>第2回 7 月7日、第3回3月17日開催</p> <p>・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>第2回 7 月17日、第3回2月19日開催</p> <p>・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>第2回 7 月2日、第3回12月16日開催</p> <p>共1-③新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する。…それぞれに部会を設置</p> <p>・令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱（～3月（継続））</p> <p>・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱（～3月）</p> <p>令和7年4月1日 福井博一氏本学教授として採用</p> <p>・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部 浩氏委嘱（～3月（継続））</p>	令和7年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。	<p>【課題と理由】</p> <p>事業計画に対応する取組状況は、当初から現在第20回の新組織に関する検討会（新学科設置準備委員会）を開催し、それぞれ3つの新組織について多面的に検討している。また、同時に、地域との連携・地域の人材強化を目指しており、長年の課題である若者の他県への流出増を軽減すべく、県教育委員会と折衝し令和7年10月に県下の国公立の高校及び私立高校の協力を得て高校1年生を対象にインターネットによる第2回アンケート調査を実施し、9,595名（うち、女子4,598名）から回答を得て、方向性について確認し、分析をし、ニーズに対応した新学科のコンセプトの改善に取り組んでいる。</p> <p>また、オープンキャンパス等による来学者への調査、企業及び、先行大学等を視察し、ディプロマポリシーの具現策の策定に取り組んでいる。</p> <p>その結果として高校生や地域のニーズに合致したカリキュラムを策定し、これを担当する大学設置基準に適合する教員数を早急に確立し、獲得していく必要がある。しかし、それぞれのディプロマポリシーを実現するためのカリキュラム、それを支える教員の確保が課題となっている。</p> <p>食農・建築デザイン・情報科学共に、専門的な教員が少ない上、他大学でもこれらの専門の教員を獲得している状況で、設置審並びに課程審の対応する論文を持っている等大学設置基準に適合する教員を獲得することが大きな課題となっている。</p> <p>特に、農業と家政の複合学間については、ディプロマポリシーとカリキュラムの整合並びに専門教員の確保には苦慮している。</p> <p>現在は、外部評価委員会及び理事会・評議員会で大学の近況報告をし意見をいただいている。</p> <p>【対応】</p> <p>アンケート調査結果、令和7年度オープンキャンパスの参加状況等を検討し、令和8年3月25日開催の評議員会・理事会で審議し、令和7年度までの事業をもって事業を廃止することとした。</p>
	<p>具体的には</p> <p>1-① ・令和6年9月～令和 8 年3月 ニーズに関わる事項（ニーズ調査、視察含む）（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 カリキュラム、付随する取得できる資格（ドローン資格など）、招聘教員（30%増）および教員組織等事に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 9 年3月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 9 年3月 外部資金獲得に関する事項（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せを目標）（継続）</p> <p>・令和7年 2 月～毎年 事業評価に関わる事項（外部評価委員会）</p> <p>令和6年度～令和 7 年度 広報の実施（アンケート等）（継続）</p>	<p>具体的には</p> <p>1-① ・令和6年9月～令和 8 年3月 ニーズに関わる事項（ニーズ調査、視察含む）…学生ニーズを把握するため、岐阜県教育委員会と連携し県下の国公立の高等学校1年生に第2回アンケートを実施（令和7年10月）</p> <p>・令和6年7月～（継続）3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項を新学科設置準備室で検討</p> <p>・令和6年 7 月～（継続）カリキュラム、付随する取得できる資格(ドローン資格など)、招聘教員(30%増)および教員組織等事に関わる事項…それぞれに部会で検討</p> <p>・令和6年 7 月～（継続）地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項…設立協議会委員委嘱と関連し協定内容について継続検討</p> <p>・令和8年 2 月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項…オープンキャンパスの早期開催、公開講座の多様化、奨学金の見直し、</p> <p>・令和7年10月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項</p> <p>・令和7年7月 外部資金獲得に関する事項（公募事業への申請）</p> <p>・令和8年2月 事業評価に関わる事項…外部評価委員会実施（14日）</p>			
令和7年度	<p>1-② ・令和6年9月～令和 8 年3月 設置目的と社会ニーズの整合性および育成する人材に関わる事項（ニーズ調査、視察含む）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 社会ニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム構成と教員資質および教員組織に関する事項</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 地域連携、高大連携に関する事項の検討</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年3月 実習フィールド（耕作放棄地の借用含む）や工場確保に関する事項（協力できる範囲含む）</p> <p>・令和7年4月～令和8年3月 必要施設設備の整備計画に関する事項（計画指導・助言）</p> <p>・令和6年7月～令和 9 年3月 キャリア支援（就職先分野）に関する事項への助言</p>	<p>1-② ・令和7年9月 設置目的と社会ニーズの整合性および育成する人材に関わる事項（視察）</p> <p>・令和6年7月～（継続）社会ニーズに合った人材を育成するためのカリキュラム構成と教員資質および教員組織に関する事項</p> <p>・令和6年9月～（継続）地域連携、高大連携に関する事項の検討</p> <p>・令和7年2月～（継続）実習フィールドや工場確保に関する検討・依頼</p> <p>・令和7年2月～（継続）必要施設設備の整備計画に関する事項（計画指導・助言）</p> <p>・令和6年10月～（継続）キャリア支援（就職先分野）に関する事項への助言</p> <p>関係企業アンケート実施</p> <p>・デジタルフロンティア学科 令和7年9月</p> <p>・建築デザイン創造学科 令和7年10月</p> <p>・食農デザイン学科 令和8年1月</p> <p>・理事会・評議員会で大学の近況で令和6年度大学・高専機能強化支援事業について報告</p> <p>令和7年8月20日、11月19日、令和8年1月21日開催の理事会・評議員会</p> <p>・令和8年3月25日開催の評議員会・理事会において「令和6年度大学・高専機能強化支援事業の件」の議案を上程し審議し、大学の方針を決定</p>			
	<p>1-③ ・令和6年9月～令和9年3月 コーディナーター採用</p> <p>・令和6年12月～令和9年3月 新設学科構想ごとに（仮）設立協議会の全体統括</p> <p>・令和6年7月～令和9年3月 授業科目と教員資格に関する事項の助言・指導</p> <p>・令和6年7月～令和9年3月 3つのポリシー、カリキュラムに関係する計画に係る事項</p> <p>・令和6年9月～令和9年3月 設置審に関わる事項の支援</p>	<p>1-③ ・コーディネーター採用（令和6年度から）</p> <p>・令和6年9月 建築デザイン創造学科 高村秀紀氏委嘱（～3月（継続））</p> <p>・令和6年9月 食農デザイン学科 福井博一氏委嘱（～3月（継続））</p> <p>令和7年4月1日 福井博一氏本学教授として採用</p> <p>・令和6年9月 デジタルフロンティア学科 鎌部 浩氏委嘱（～3月（継続））</p> <p>・新設学科構想ごとに（仮）設立協議会の全体統括（継続）</p> <p>・令和6年12月 建築デザイン創造学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>・令和7年1月 食農デザイン学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>・令和6年12月 デジタルフロンティア学科設立協議会開催（～3月（継続））</p> <p>・令和6年7月～（継続）授業科目と教員資格に関する事項の助言・指導</p> <p>・令和6年7月～（継続）3つのポリシー、カリキュラムに関係する計画に係る事項</p> <p>・令和6年9月～（継続）設置審に関わる事項の支援</p>			
令和8年度	<p>【共通事項】</p> <p>共1-①令和6年7月 新学科設置準備室を設置する。（設置、継続協議）</p> <p>共1-②令和6年12月 新設学科構想ごとに（仮）設立協議会を設置する。（設置、継続協議）</p> <p>共1-③令和6年9月 新設学科構想ごとに全体統括をするコーディネーターを採用・配置する。（配置、検討）</p>		令和8年度自己評価	リストから選択してください。	
	<p>具体的には</p> <p>1-① ・令和6年7月～令和 8 年10月 3つのポリシー、設置許可申請に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 カリキュラム、付随する取得できる資格（ドローン資格など）、招聘教員（30%増）および教員組織等事に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 地域で活躍する企業や自治体との連携協定に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 8 年10月 入学者確保のための広報、高大連携、入学者選抜、特別選抜に関わる事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 9 年3月 キャリア支援（就職先確保）に関する事項（継続）</p> <p>・令和6年7月～令和 9 年3月 外部資金獲得に関する事項（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せを目標）（継続）</p> <p>・令和7年 2 月～毎年 事業評価に関わる事項（外部評価委員会）</p>				

令和9年度	2-① 令和9年4月 施設の新設、改修 2-② 令和9年4月 設備および機器の整備に関わる事項 2-③ 令和9年4月 耕作放棄地の借用契約に関わる事項 2-④ 令和9年7月 入学者募集 2-⑤ 令和9年4月～令和10年3月 外部資金獲得推進に関わる事項 2-⑥ 令和10年2月 事業評価に関わる事項（協議会を事業評価委員会に移行）		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	3-① 令和10年～令和13年 成果報告会の実施（検証評価） ・令和10年～令和13年 教育研究内容の見直し（GX）およびe-Learningへの展開とメタバースとの連携（DX）、自己点検の実施（授業評価を活用）に関する事項 ・令和11年～令和13年 必要施設設備および機器のメンテナンス、更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 連携機関、連携内容の強化、農地の契約更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 開発商品等のブランド化、六次産業化に関する事業 ・令和10年～令和13年 入学者確保に向けたの学生募集の見直しと多様な学生の個別最適化への検討と対応に関する事項 ・令和10年～令和13年 外部資金獲得支援（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せ）に関する事項		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和10年～令和13年 成果報告会の実施（検証評価） ・令和10年～令和13年 教育研究内容の見直し（GX）およびe-Learningへの展開とメタバースとの連携（DX）、自己点検の実施（授業評価を活用）に関する事項 ・令和11年～令和13年 必要施設設備および機器のメンテナンス、更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 連携機関、連携内容の強化、農地の契約更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 開発商品等のブランド化、六次産業化に関する事業 ・令和10年～令和13年 入学者確保に向けたの学生募集の見直しと多様な学生の個別最適化への検討と対応に関する事項 ・令和10年～令和13年 外部資金獲得支援（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せ）に関する事項		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和10年～令和13年 成果報告会の実施（検証評価） ・令和10年～令和13年 教育研究内容の見直し（GX）およびe-Learningへの展開とメタバースとの連携（DX）、自己点検の実施（授業評価を活用）に関する事項 ・令和11年～令和13年 必要施設設備および機器のメンテナンス、更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 連携機関、連携内容の強化、農地の契約更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 開発商品等のブランド化、六次産業化に関する事業 ・令和10年～令和13年 入学者確保に向けたの学生募集の見直しと多様な学生の個別最適化への検討と対応に関する事項 ・令和10年～令和13年 外部資金獲得支援（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せ）に関する事項		令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度	3-① 令和10年～令和13年 成果報告会の実施（検証評価） ・令和10年～令和13年 教育研究内容の見直し（GX）およびe-Learningへの展開とメタバースとの連携（DX）、自己点検の実施（授業評価を活用）に関する事項 ・令和11年～令和13年 必要施設設備および機器のメンテナンス、更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 連携機関、連携内容の強化、農地の契約更新に関する事項 ・令和10年～令和13年 開発商品等のブランド化、六次産業化に関する事業 ・令和10年～令和13年 入学者確保に向けたの学生募集の見直しと多様な学生の個別最適化への検討と対応に関する事項 ・令和10年～令和13年 外部資金獲得支援（外部資金獲得額が申請時の2.5%以上の上乗せ）に関する事項		令和13年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和9年3月 グリーンライフ創造学部建築デザイン創造学科及び食農デザイン学科 認可申請 令和9年3月 文化創造学部デジタルフロンティア学科 認可申請			
定員減又は 学部等の廃止	令和12年健康栄養学科廃止届出（令和10年募集停止）			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	岐阜女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

- i)

学生募集停止中の大学
- ii)

学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii)

「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv)

設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v)

大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
- 上記項目の申請資格の状況について、ブルダウんで選択してください。（ブルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ①

高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。
- ②

十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③

産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④

特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤

計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥

特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1

社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2

学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧

入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨

事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩

大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪

フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、令和7年度の取組の状況についてブルダウんで選択してください。（ブルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をブルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	岐阜女子大学
-------------	-------	-----	--------

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック
- a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェック
- b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェック
- c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
【建築デザイン創造学科】これまで包括連携協定等を締結して連携を行ってきた地方自治体（岐阜県、岐阜市、山県市、各務原市等）とは、今後とも空き家リノベーション事業等で連携を拡充し、産官学連携による実践的なPBL等の場を確保していく計画である。また、現在本学全体として進めている授業のe-Learning化を活用して、より集中的あるいは中長期的のPBL等の実習を実現する計画である。 【食農デザイン学科】これまでに、JA（長良ぶどうの加工）や近隣市町（山県市+美濃山県元気ファーム；にんにく加工品）、地元企業（道の駅美濃にわか茶屋；仙寿菜の活用、体験農園みとか；収穫物を活用したカフェメニューの提案）と地域活性化にあたり連携や、近隣市町の住民を対象にした健康増進事業（山県市、美濃市）を推進してきたが、農場運営やスマート農業を見据えたJAや地域のマーケット（株式会社バロー）の農場、水耕栽培を先行する企業と連携をすべく、フェーズ1期間中に見直しを行い関係機関の強化と内容の拡大を図る計画である。 【デジタルフロンティア学科】現在のメタバース・データサイエンス等の授業では、産官学連携で連携している岐阜県下呂市、及び電算システム㈱から講師を招聘して、DMOと観光DX、地域貢献に役立つメタバース構築など、現地実施タを含む地域のニーズに応じたPBLを実施しており、新設するデジタルフロンティア学科においても、岐阜県及び岐阜車体工業㈱、トーエネック㈱などの企業と連携して、PBLを含む科目を充実する予定である。	【建築デザイン創造学科】 連携自治体（岐阜県、岐阜市、山県市、各務原市等）とは、実践的なPBL等の場を確保している。特にリノベーションについては、1年次から段階的に実践できる体制を整えている。関連企業との連携も実践を通して強化できている。 【食農デザイン学科】 コーディネータを本学教員に採用した。学科共通科目に「農業概論」、「食と農の生命倫理」、「醸造学」、「食品加工学」の新設。 ・JA岐阜：「農業実習」を支援、（株）バロー：「食品マーケット論」を支援による企業連携を進めている。 ・学生ニーズから、農業実習・研究用の水耕栽培施設の在り方の見直しを進めている。 【デジタルフロンティア学科】 岐阜県下呂市、及び電算システム㈱から講師を招聘してDMOと観光DXを推進し、必要授業科目を設定。 ・公的機関（岐阜県商工労働部）：県内産業振興による企業との共創（インターンシップの実施）を目指す。 ・私企業（（公財）ソフディアジャパン、岐阜車体工業㈱、トーエネック㈱、岐阜新聞社、日本システム開発（株）、岐建（株）、エム・ビー・エス（株）、シンクレイヤ（株））：業務・現場のDX化推進・共同研究を進める。	【課題】（理由）とその対応 大学が要請を目指す人材に対する企業や自治体と連携した科目の具体化は進んでいるが、昨年、今年と調査した県内学生のニーズからは何れの学科も複数年にわたり高い収容定員充足率を複数年維持することは困難な状況となっている。 ・現在の入学者の学習歴と社会が求める人材像の知識に乖離が見受けられる。このため、本学の教育を通してで養成を目指す人材像には工・農の知識が必要であることを高大連携（出前授業等）を通してしっかりと伝える必要があり、実践する。 ・現在の入学者の学習歴に沿い、かつ社会が求める人材像のマッチングのあり方について意見を集約し、具体的内容を高校に説明しアピールする必要があり、実践する。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☒ チェック
- a.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェック
- b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェック
- c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェック
- d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- ☐ チェック
- e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子大学として、本計画では現在の多様な入学者を確保するため、それぞれ学科で以下のような見直し等を行う計画である。 【建築デザイン創造学科】 a.入学者に求められる基本学力としての数学、物理の科目の導入、総合型選抜における課題の導入 c.出前授業については、工学系や理数系の学科を持つ高等学校を重点的に実施 d.建築関係の資格取得や最先端のDX・GXの知識に関するコースに応えるため現在本学全体として進めている授業のe-Learning化を活用してのリカレント教育、リスキングへの対応する科目を充実、科目等履修生、聴講生の受け入れを推進 【食農デザイン学科】 a.入学者に求められる基本学力としての生物、化学、数学、物理の科目の導入、総合型選抜における課題の導入及び特別選抜 c.出前授業については、工学系・理数系や農学の学科を持つ高等学校を重点的に実施 d.長期履修制度や社会人履修証明プログラムの検討を進め、リスキングとして食農教育ができる栄養教諭や子育て世代への安全・安心な食を提供できるバイヤー、商社でのマーケティングができる人材育成を科目等履修生、聴講生の受け入れで推進 【デジタルフロンティア学科】 a.入学者選抜筆においては、記試験とCBT、面接により、DX化を積極的に推進する意欲のある学生を選抜、面接では地域貢献に資するプロジェクトの提案などを出題し、発想力・創造力豊かな学生の選抜 c.教育DXとして、地域の初等中等教育段階の学校との連携、メタバースに小中学生が国内の遠隔地や海外の小中学生と交流を行う「遠隔協働学習教室」、不登校の小中学生用の「学びの部屋」、沖縄や岐阜県の観光を学ぶ「観光の部屋」等を設置 d.メタバースの利活用、モーションキャプチャの利用、AIを利用したメタバース内での応答システムなど社会人の関心が高い分野での履修科目を充実、科目等履修生、聴講生の受け入れを推進	【建築デザイン創造学科】 a.については入学前課題も含め工学系の先生を中心に内容を検討している。 c.については広報活動も含め推進している。 d.についてはMulti Campus One Digital University構想の下、授業のe-Learning化を推進し、リカレント教育、リスキングへの対応を進めている。 【食農デザイン学科】 a.については入学前課題も含め工学系の先生を中心に内容を検討している。 c.については農業高校をはじめ関係するコースを設置する高校を中心に重点実施している。 d.についてはMulti Campus One Digital University構想の下、授業のe-Learning化を推進し、リカレント教育、リスキングへの対応を進めている。3年次編入生の受け入れも実施している。 【デジタルフロンティア学科】 a.については計画通り進めている。 c.については教育DXについては機会を捉えて実践し、初等中等教育、高等学校との連携を推進している。 d.については岐阜県、下呂市、企業と連携し地域に根差す人材養成を進めている。	事業計画に対応する取組状況は、当初から現在第20回の新組織に関する検討会（新学科設置準備委員会）を開催し、それぞれ3つの新組織について多面的に検討している。また、同時に、地域との連携・地域の人材強化を目指しており、長年の課題である若者の他県への流出増を軽減すべく、県教育委員会と折衝し令和7年10月に県下の国公立の高校及び私立高校の協力を得て高校1年生を対象にインターネットによる第2回アンケート調査を実施し、9,595名（うち、女子4,598名）から回答を得て、方向性について確認し、分析をし、ニーズに対応した新学科のコンセプトの改善に取り組んでいる。 今後、オープンキャンパス等による来学者への調査、さらに、業者による広範囲の調査も含めニーズを具体的に分析し、趣旨とカリキュラムの整合性を図る。

大学名	岐阜女子大学
-----	--------

1.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

1. 本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	岐阜女子大学
-----	--------

(2)

改組内容	学部の新設
学部学科名	グリーンライフ創造学部 食農デザイン学科（農学関係）

[illegible]

1. 本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	岐阜女子大学
-----	--------

(3)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	文化創造学部 デジタルフロンティア学科 (工学関係)

[illegible]

大学名	岐阜女子大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	岐阜女子大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	330	215	215																
		入学者数	人	141	135	143																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	330	215	215																
		入学者数(B)	人	141	135	143																
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.43	0.63	0.67																
	収容定員等	収容定員(C)	人	1320	1205	1090																
		編入学定員	人	若干名	若干名	若干名																
		在籍者数(D)	人	772	718	653																
		編入学者数	人	114	115	101																
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.58	0.60	0.60																

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定												
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	16,720	12,305	21,327	21,945	50,979	49,417	26,696	34,887											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得	千円	30,896
本事業による助成金の額(F)	千円	396,299
フェーズ3の助成期間終了時まで達成する額 (E+F×2.5%)	千円	40,804

特記事項

令和7年度入学定員減について、令和6年10月28日付けで文部科学省に変更届を提出し、令和7年4月から適用している。 編入生定員若干名は、入学定員未充足分で学生募集を行っている。（主として、短大卒生の資格取得（管理栄養士受験資格）や（教員資格1種免）のための修学支援である。）
--